

公務員制度の総合的な改革に関する懇談会（第7回）議事概要

- 1 日時： 平成19年11月7日（水）10：40～12：15
- 2 場所： 総理官邸三階南会議室
- 3 出席者：
(委員・50音順、敬称略)
岩田喜美枝、江口克彦、岡村正、堺屋太一、佐々木毅、高木剛、田中一昭、
屋山太郎
(政府)
福井行政改革推進室長、株丹行政改革推進室次長
- 4 議事次第
 - (1) 開会
 - (2) 働きに応じた処遇、ワーク・ライフ・バランスの実現等魅力ある働き方、労働基本権、人事管理体制のあり方、幹部職員の育成について
 - (3) 閉会
- 5 議事の経過
 - 事務方（労働基本権については佐々木委員）から各議題について資料の説明を行いつつ、自由討議が行われた。委員の主な意見は以下のとおり。

【働きに応じた処遇、ワーク・ライフ・バランスの実現等魅力ある働き方】
(人事評価関係)
 - ・頑張った人が評価されることは必要。ただ、そのルール、基準などについて、労使間がきちんと合意しておく必要がある。職員団体による激しい反対闘争が全てのようにみられると困る。
 - ・評価を行っていくということは、競争がはたらくことになることから、反対すべきではない。
 - ・民間企業なら売れるモノを作ったら評価されるが、公務においては、だれに評価されればいいのかという視点が抜けている。公務員が販売

しているモノは何なのかについて考えていかないと仲間内の評価になる。

- ・（現在の評価は）身近な人達による評価で、中でぐるぐる回っている感じ。
- ・目標を定めて評価する。また、評価される人がエンカレッジされるものとするためには、コミュニケーションが大事であり、本人にフィードバックしていくことが大事。また、横から全体をみていく人がいることが重要で、この仕組みがないと評価が甘くなる。
- ・（勤務評定の評価が）絶対評価になっており相対評価になっていない。民間では、相対評価を行い序列を付けている。
- ・コストマネジメントをする意味からも、相対評価は当然である。
- ・評価するにあたっては、目標の設定をどのようにするかが重要であり、運用にあたっては、その点を理念として強く掲げて取り組んでいく必要がある。

（働き方関係）

- ・政治家周りなど、しなくてもよい仕事ばかりしている。この職の人はこの目的で働くべきということを明確にすることが必要。現状は、局長、課長クラスになると文章を書かなくなるし、部下に残業を多く強いることについても悪い評価とならない。
- ・このままの勤務状況を放置すると人材確保、人材定着の両面で障害となる。
- ・無駄な仕事を止め、仕事のプロセスを改め、1時間当たりの生産性を高めていくべき。（各省）大臣が本気になって取り組む必要があり、数値目標付きのアクションプランを作って取り組んでいくことが必要。
- ・国会待機の状況も、一定のルールを決めたにも拘わらず全く改善されていない。また、サービス残業の問題も完全に放置されている。省庁や会計区分（一般会計、特別会計）などによって支給状況にバラツキがある。このような状況では、時間管理など出来るはずがない。
- ・国会業務については、内閣と国会の関係を変える必要がある。事務方が必要以上に準備をし、答弁などで少し間違えると大騒ぎするような状況は見直すべき。
- ・残業の実態をオープンにしていくことが必要。
- ・業務プロセスの見直しについては、各省協議のプロセスをオープンに

していくことが重要。

【労働基本権】

- ・コストの問題もあり、国民の理解も得ながら慎重に決断していく必要があるが、専門調査会の報告を尊重していく方向。

【人事管理体制のあり方】

- ・任命権は大臣が持ち、拒否権などは総理大臣が持つ仕組みにするなど、人事に関しては内閣ではなく総理大臣にすべき。内閣だと曖昧になる。
 - ・縦割や縄張りの争いが起こるのは、各職員が各省のゼッケンをつけており、そこで譲ると出世がおぼつかなくなるため。各省のゼッケンなしの人事管理にすべき。
 - ・内閣府でもいいが、(一定の役職以上の)人事履歴のデータベースをもっていることが大事。
 - ・労使関係の当事者として使用者機関を一元化することは大事。一括管理とデータベース化をしっかりとっていくべき。
- その他意見として、懇談会報告書の起草委員会を作ることについて提案がなされた。これに対し、今後、懇談会全体でこれまでの議論を踏まえ骨格の確認等を行っていくことになるが、それらの作業の後、提案があった起草委員会について考えていくこととなった。
- 議事次第で予定していた「幹部職員の育成」については、時間の関係で議論に入ることができず、次回以降に議論を行うこととなった。

<文責：内閣官房行政改革推進室（速報のため事後修正の可能性あり）>